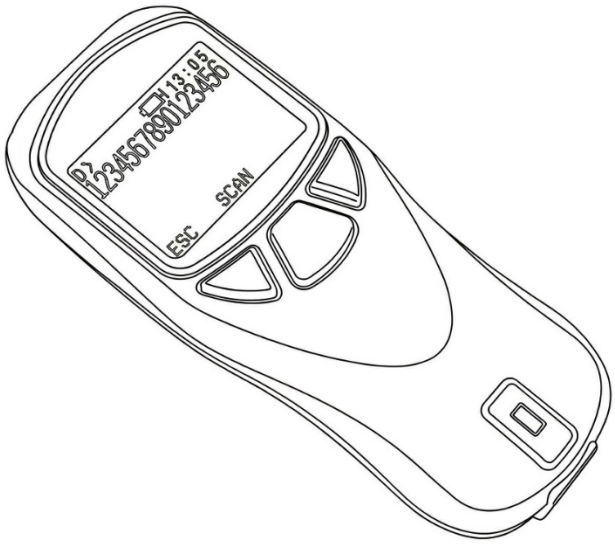
ワイヤレス 2 次元バーコードリーダー

iDC9600R

設定メニュー

Ver.B



株式会社エイポック

・製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
・本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
・本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

目次

1、はじめに ・・・

6、ブザー
高、低 ・・・

1、はじめに

本書では、2 次元バーコードリーダーiDC9600R の設定専用バーコードメニュー（以下、設定メニュー）を記載しています。
基本的な操作説明と設定メニューは、本体およびドングル付属の別紙「かんたんガイド」に記載しています。

2、設定方法

バーコードリーダーで設定メニューを読み取ると、スキャナの動作が設定されます。
電源を切った後も、設定はバーコードリーダーに保存されています。

設定メニューを読み取るには

・バーコードリーダーを「データ転送モード」（ワイヤレス読み取り）に切り替えて、PC やタブレットと Bluetooth 接続した状態で読み取って下さい（あらかじめ Bluetooth 接続の設定をして下さい）。
・または、バーコードリーダーを「メモリスキャン」に切り替えてから読み取って下さい。

ご注意

「データ転送モード」のとき、Bluetooth 未接続のままですと、ビームが出ないようになっているため、設定メニューの読み取りができません。

3、読み取りコードの設定　バーコード

＊印は初期値

Code39　読み取り

有効＊

無効

NW7 (Codabar)　読み取り

有効＊

無効

NW7 (Codabar)　スタート・ストップ送信

有効＊

無効

Code128　読み取り

有効＊

無効

GS1-128　読み取り

有効＊

無効

3、バーコード　読み取りコードの設定　バーコード（つづき）

＊印は初期値

UPC-A　読み取り

有効＊

無効

UPC-E　読み取り

有効＊

無効

EAN13/JAN13　読み取り

有効＊

無効

EAN8/JAN8　読み取り

有効＊

無効

Code93　読み取り

有効＊

無効

1、読み取りコードの設定　バーコード（つづき）

＊印は初期値

Interleaved 2 of 5 (ITF)　読み取り

有効＊

無効

Industrial 2 of 5　読み取り

有効＊

無効

Matrix 2 of 5　読み取り

有効

無効＊

Code11　読み取り

有効

無効＊

MSI　読み取り

有効＊

無効

1、読み取りコードの設定　バーコード（つづき）

＊印は初期値

GS1 データバー標準型　読み取り

有効＊

無効

GS1 データバー限定型　読み取り

有効

無効＊

GS1 データバー拡張型　読み取り

有効

無効＊

合成シンボル CC-A/B（コンポジット CC-A/B）　読み取り

有効

無効＊

合成シンボル CC-C（コンポジット CC-C）　読み取り

有効

無効＊

4、読み取りコードの設定　2 次元バーコード

＊印は初期値

PDF417　読み取り

有効＊

無効

MicroPDF　読み取り

有効

無効＊

QR　読み取り

有効＊

無効

MicroQR　読み取り

有効

無効＊

4、読み取りコードの設定　2 次元バーコード（つづき）

＊印は初期値

Datamatrix　読み取り

有効＊

無効

GS1 Datamatrix　読み取り

有効＊

無効

Aztec　読み取り

有効

無効＊

5、GS1 バーコード関連の設定

GS1 の AI カッコ追加設定

GS1-128、GS1 データバー、GS1 合成シンボル、GS1 Datamatrix の AI（アプリケーション識別子）にカッコ（ ）を追加するか、追加しないかの設定です。出荷時は AI にカッコを追加する設定です。

AI にカッコを追加する＊

AI にカッコを追加しない

5、GS1 バーコード関連の設定（つづき）

GS1 データバー、合成シンボル　クイック設定（設定のまとめ）

a) すべてのデータを読み取る

例：バーコード (01)14512345678903(17)260630(10)1234 → 送信データ (01)14512345678903(17)260630(10)1234

下記のメニューコードをすべて読み取って下さい

GS1 データバー標準型 有効	GS1 データバー限定型 有効	GS1 データバー拡張 有効	合成シンボル CC-A/B 有効

b) 商品コードのみ読み取る　(01)を送信する

例：バーコード (01)14512345678903(17)260630(10)1234 → 送信データ (01)14512345678903

下記のメニューコードをすべて読み取って下さい

GS1 データバー標準型有効	GS1 データバー限定型有効	GS1 データバー拡張型有効	合成シンボル CC-A/B 無効

c) 商品コードのみ読み取る　(01)を送信しない

上記 b)を設定し、下記を読み取って下さい

例：バーコード (01)14512345678903(17)260630(10)1234 → 送信データ 14512345678903

AI にカッコを追加しない		先頭 2 桁を削除する ※ほかのコードタイプも先頭 2 桁を削除します。

※先頭 2 桁を出すように戻すには「すべてのデータを出力する」を読み取って下さい

すべてのデータを出力する

6、ブザーの設定

高

低＊

7、システム言語の設定

本体画面表示の言語を設定します。

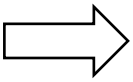
日本語

英語＊

8、初期化

本体を初期化します。A1、A2 を順に読み取って下さい。

A1



A2

※ブザーの設定は初期化しません。